

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式						
E142J017	デザイン演習 (Seminar in design)						対面						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態					
選択	2	3	教育学部 令和2年度 以降入学生用	後期	火4	日本語		単独					
担当 教員	氏名 廣瀬 剛 E-mail hirotake@oita-u.ac.jp 内線 7639												
授業 の 概 要	ICT機器を含むさまざまな用具、素材を使用した作品2点を制作しデジタル表現の技法等を学ぶ。課題3では、各受講者が取り上げた社会的な問題を、公共広告ポスター制作をとおして、第三者に適切に問題提起できる方法を学習する。												
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)					1	2	3	4	5	6	7	
目標1	社会で起きている様々な問題に関心を持つことができる。												
目標2	第三者に向けたポスター表現として適切にビジュアル化することができる。												
目標3													
目標4													
目標5													
目標6													
目標7													
目標8													
目標9													
目標10													
各DPへの関連度(計10)						6	4						
授業の内容													
1	ガイダンス、課題1説明												
2	課題1「デジタルコラージュ」説明												
3	課題1「デジタルコラージュ」制作												
4	課題1講評・ディスカッション												
5	課題2「雑誌プロフィール」説明												
6	課題2「雑誌プロフィール」制作												
7	課題2講評・ディスカッション												
8	課題3「公共広告ポスター」説明												
9	発想力の高め方												
10	サムネールチェック1・発想力の高め方												
11	サムネールチェック2・キャッチコピーについて												
12	サムネールチェック3・アイデアのビジュアル化												
13	課題3制作「素材制作」												
14	課題3制作「レイアウト」												
15	課題3講評・ディスカッション												
ラ イ ク ニ テ ン イ グ ブ	A:知識の定着・確認	作品課題制作・グループディスカッション					工 夫	そ の 他 の					
	B:意見の表現・交換												
	C:応用志向												
	D:知識の活用・創造												
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修	適切な用具の準備(3h)											
	事後学修	課題制作(課題1:6h)(課題2:6h)(課題3:30h)											
	想定時間合計	45											
教科書	教科書は指定しない												
参考書	適宜提示します。												

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	提出課題	70%										
取り組み状況	30%											
注意事項	クロッキー帳は毎回持参すること。 作品制作に必要な素材は各自で用意すること。											
備考												
リンク	URL											
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無												
教員以外の実務経験者	子どもの造形活動指導、グラフィックデザイナー、イラストレーター											
実務経験をいかした教育内容	造形教育に関する実技指導、デザイン、イラストレーションの実技指導											